

開会式 閉会式を引き締めた市消防団、佐藤芳之・中田支団長の号令



鋭い視線で競技を見つめる審査員。選手同様、審査も真剣勝負です



女性消防団員の先導で入場する選手団



大会を盛り上げたラッパ隊の演奏



大会を支えた、約400人の登米市消防団および消防署員ら

ご協力いただいた皆さんに感謝

当日は、登米市の消防団員や消防署員、市職員など約400人が大会運営に当たりました。登米市で開催したのは、平成10年に合併前の石越町で開催して以来です。会場は南方中央運動広場。



消防本部警防課 佐藤 正満 課長

来場者の駐車スペースを確保するために、周辺施設の関係者にもご協力をいただきました。大会運営については、2年前に大崎市松山で開催された前大会を参考に、訓練や打ち合わせを重ねました。皆さんのおかげで大会も無事終わり、感謝しています。2年後の開催地となる市町村には、今大会の反省点も含め、しっかりと引き継ぎたいと思います。

大会参加者の声



佐藤 芳之 さん (中田町八幡山)

大会の開会式、閉会式の総指揮をやらせていただきました。当日は炎天下でしたので、できるだけ早く進行するよう号令をかけました。長時間やるとダラダラして節度も乱れますからね。地元で開催される大会で総指揮をやらせていただき、消防団員として意気に感じました。



柳 淳一 さん (米山町追土地)

ラッパ隊の指揮を行いました。当日のラッパ隊は市消防団各支団からの選抜25人です。今回の演奏にはファンファーレを取り入れました。大会を盛り上げようという初めての試みです。各支団のエキスパートがそろったラッパ隊ですので、当日は良い出来だったと思っています。



浅井 彩奈 さん (南方町裏大岳)

女性消防団員として、開会式で選手団を先導しました。消防団に入って3年になります。県大会を見るのは初めてです。



市消防署津山出張所 洪谷 秀幸 主査

当日の入場行進はぶっつけ本番。列が乱れないよう気を付けました。暑さでばててしまいました。が、良い経験になりました。

ポンプ車操法の部の審査員を務めました。県大会の審査員を務めるのは3度目です。出場した津山支団の指導にも当たりましたが、審査はあくまでも公正公平。結果的に優勝しましたが、客観的に見ても登米市消防団の出来は、他の消防団に比べ抜きん出ていたと思います。